

平成25年度第2回芦屋市スポーツ推進審議会

日 時	平成26年3月14日(金) 16:00~17:15
場 所	芦屋市立体育館・青少年センター2階大会議室
出席者	<p>会 長 岡田 明</p> <p>副 会 長 西田 俊一</p> <p>委 員 野島 寛, 比嘉 悟, 古津 純子, 山口 泰雄, 大崎 洋二, 中島 かおり (4名欠席)</p> <p>事 務 局 福岡 憲助教育長, 中村 尚代社会教育部長, スポーツ推進課職員(木高 守課長, 権藤 弘之課長補佐, 寺本三恵子指導主事, 木戸 秀行指導主事, 大西 貴和主事補)</p>
事務局	社会教育部 スポーツ推進課
会議の公表	<input checked="" type="checkbox"/> 公 開 <input type="checkbox"/> 非 公 開 <input type="checkbox"/> 部分公開
傍聴者数	0人

1 開会

2 岡田会長挨拶

3 福岡教育長挨拶

4 議事

- ・委員 8名(野島委員は途中から出席)の出席により審議会条例第6条第2項の規定により、本審議会成立。
- ・情報公開条例第19条(会議の公開)の規定により議事録等公開を確認。

議題1「芦屋市スポーツ推進実施計画(前期)」について

(岡田会長)

それでは、議題1につきまして事務局の方から、ご説明をお願いします。

(木高課長)

「芦屋市スポーツ推進実施計画(前期)」を基に説明

(岡田会長)

ありがとうございました。今、事務局から具体的な説明がございましたが、何かご意見・質問等ございますか。さすが芦屋というか、パブリックコメントの応募者がきちんとおられるということ、他市では、何もなくて終わってしまうことが多いが、きちっと見ている方がおられるということは、情報公開・開示の意味があるし、緊張してやらないといけないと思う。実施計画については、前回に相当詳しく精査し、説明も加えていただき、その上、パブリックコメントもいただいて、より見やすくされていますが、ご意見・ご提案お願いいたします。

(教育長)

補足ですが、議会の中でご意見をいただいたのは、芦屋の文化としてコミスクがあります。スポーツクラブ21を立ち上げる際に、コミスク自体がもっておいりました文化部門と運動部門、その運動部門をスポーツクラブ21としました。位置づけとして、スポーツクラブ21となっているのだけでも、市民としての意識はやっぱりコミスクとしてやっている。その意識を大切にしていきたいというご指摘がありました。事務局では、コミスクとしての位置づけと、共にスポーツクラブ21も大事にするということを再認識させていただいた。

(岡田会長)

教育長がおっしゃったように、早くから熱心に地域でそういったことをなさっているし、芦屋より

もっと強力にそっちが優先でスポーツクラブ21はいらないというところもありますし、神戸では神戸方式をされているし、うまく芦屋市が入っていただければ、非常にありがたい。どこでも10年たっても、せめぎあいは同じです。

(中村部長)

そういったご意見を中間まとめでいただいておりますので、注釈を34ページのところで、コミスクとスポーツクラブ21の用語の解説について、これまでの経過・経緯なども簡単にまとめながら、重要視してここに記載しております。コミスクの立場・スポーツクラブ21の立場を意識して書かせていただきました。

(教育長)

教育委員会としましては、市民の皆さんにスポーツを楽しんでいただくということが本意でありますので、そこは皆さんの意識を尊重しながら、体協等の力も借りながら、芦屋らしさを出していきたい。

(山口委員)

今回送っていただいた参考資料を見てますと、これまで3回、5年おきの市民スポーツ意識調査が3回分並べて表示していただいて、変化がすごくわかりました。例えば28ページの①週1回以上の定期的実施者とか平成19年には一度落ちていますが、20年になるとまた上がってくるとか、男性がずっと上がってきてますし、こうやって着実にいろんな成果が出てきていることが、これを見るとはっきりわかります。週3回以上も上がっていますね。これまでこういう意識調査をして、マスタープランを作って、いろんな施策を作ってきたことが、ここにしっかり成果が出てきているということがはっきりわかる。この表示はわかりやすくよかった。一ヶ所だけ3ページのところの計画の7課題別計画との位置関係ですが、スポーツ基本法が出来て、スポーツ基本計画ができて、兵庫県スポーツ推進計画ができて、兵庫県スポーツ推進実施計画ができて、芦屋市スポーツ推進実施計画ができてと、時系列的にはこれであっているのですが、ちょっとだけ感じたのは、例えば3つ目の兵庫県スポーツ推進計画を受けて、兵庫県スポーツ推進実施計画ができます。で、これで完結するのではなく、県の事業は県の事業として、これが芦屋市としてつながってくるのではなくて、もう一つが、芦屋市のスポーツ推進実施計画は、元は芦屋市スポーツ推進計画があるはずなんです。これが抜けているかと思います。というのは、教育長からの諮問が出て、本審議会が受けて、答申を出した。それが芦屋市のスポーツ推進計画になっているのです。それがこの間に抜けておりますので、スポーツ推進計画を受けて、スポーツ推進実施計画、いわゆるアクションプランができたという、こういう流れをとった方がいいんじゃないかと思います。ご検討ください。

(教育長)

これは教育委員会で決定しておりますが、やはり修正すべきところは修正させていただいて、さらに良いものにさせていただきたいと思います。

(岡田会長)

写真の欄のところはどうされますか。

(榎藤課長補佐)

ただ今、準備しております。

(岡田会長)

修正をお願いしたところは、きちっと直っていますので、これでいいと思います。この実施計画の最後はどうなるのですか。

(中村部長)

後は、市内のスポーツ施設の一覧表であったりとか、芦屋市がやっている事業についての資料を付けて、三月末に印刷することを目途に進めていきたいと思います。山口委員からご指摘を受けた部分については、本分会・教育委員会で承認・決定を受けておりますが、ご意見を尊重すべきと考えておりますので、後ほど、それぞれの会にはご報告させていただきながら、修正させていただきます。

(岡田会長)

他にご意見・ご提案・ご質問は。

(野島委員)

新しいスポーツ施設については、お金がないからできないのですか。

(中村部長)

市長がおっしゃっているように、市の財政は莫大な借金をかかえています。新しい施設を作るのは難しい状態です。

(野島委員)

使う立場としては、もっとどこかにできないかと思っているのですが、

(中村部長)

体育館の改修工事の計画は数年以内にはあります。市の施設が全部というのは難しいですが、すすめているところです。新しい施設ができるというのは、遠い時期ではないというふうに信じていきたいし、進める側としては、いろんな機会を見つけ、その要望をしていきたいと考えています。

(野島委員)

お金はないけど、計画はありますよと。私はその内できるのかと感じました。

(西田副会長)

野島委員と同じように、10年計画の前期5年間は一応できないということなのですが、逆に言うと、後の5年は、なんとかスポーツ施設の充実を考えていかないと。それと教育長が初めおっしゃったように、財政が苦しい中で、スポーツに関していうと、市民力といいますか、皆が力を出し合ったり、知恵を出し合ったり、設備がないところを我慢したり、シェアしたりしたのが、芦屋らしさじゃないのかなと思います。それが芦屋のスポーツを支えてきて、市民に元気を与えてきたんじゃないのかなと思います。そういう意味では、これから財政が少し戻ってきたときに、スポーツを応援してもらえるような設備なり条件なりを充実してほしい。もう一つは、先程から出ているコミスクとスポーツクラブ21、芦屋らしさを考えると、文化も入れて、スポーツクラブ21でいいのかなと、兵庫県からもそういう話があったと思うのですが、実際はわかりにくいところがあって、コミスクがベースというのは、いい制度だとは思いますが、コミスクができて30年以上、スポーツクラブ21がそこにかぶせたということ、もう少し実際そこに関わっている人がわかりやすく整理できるように、どちらもいい施策なのだが、かぶってて、あえて使い分けされていたり、無駄な会議があったり、無駄な構造があるような気が若干最近していて、実際、体育協会としてもそうなのですが、協会の中で加盟団体、種目協会が既得権をいうんじゃないし、もう少しオープンに新しく入った人、来たい人が気軽に入れるような地域の協会ができてほしい。その傘下にあるいろいろな加盟団体もそうであってほしいし、実際にそれを運営するクラブ、身近にあるコミスクやスポーツクラブ21がもう少しわかりやすい組織になっていかないと、実際に運営されている方々もどっちがどっちかわかっておられない。この5年の中で整理してもらってはどうですか。どちらも芦屋にとっては大事な組織だと思うのですが、かぶっているのであれば、そこを少し整理して、それをいかしてほしい。そういうところで、新しい施設ができないのであれば、小学校をみんなで譲り合ったりシェアできるように、特に子どもが少なくなってきていますので、反対に高齢者が増えてきているということは、高齢者は芦屋全体で活動されていると思うので、そういう場所がないということで協会の方に言ってきていますので、そうなったときに隙間のあるところを譲り合える関係というのを是非この5年間で考えながら、そして次の5年間で新しい施設をどんどん作ってもらえるような方向にもっていただけたらと思います。

(山口委員)

今回、実施計画のベースとなった基本計画の中のワーキングについてお話させてもらおうと、施設のことに関するご質問ですが、10ページを開けていただくと、ハード施設に関する芦屋市の現状はどういったことかということで、ここで議論して情報を集めました。この結果、いろんな課題ができていて、例えば、2の求められている施設については、身近なところで利用できる施設のニーズが高くなっている。確かに皆さんおっしゃるように、非常に高い。あるいは6のところ、観客席等の整備も求められていると、こういういろんな現状、課題が出たということです。これを受けて作ったのが、22ページの2スポーツ文化の推進施策の中の重点分野の最初に身近なスポーツ環境の整備が入っています。これを受けて、例えば具体的施策の①観客席の整備と掲げられて、策定時現在には作られていない、未実施ですけど、31年、前期の方向性としては作っていかうとするということが明記されて

いる。

2番目が文化機能の整備，例えばミュージアム機能，スポーツ文化を残していこうということで，これも現在ないのだけれど，5年間かけて作っていこうとしています。3番目は，芦屋市らしい情報を発信していこうと。これも未実施ですけど，実施していこうと。右のページの⑤のところですが，あしやスポーツ文化，フォトコンテストこういったものの実施する，一部されているものもありますが，さらに充実して，5年後に実施していこうとしています。こういう身近なところで，環境整備をこの5年間で具体的に掲載されています。

(岡田会長)

今，ご意見いただいて，また山口委員からもご説明がありましたが，たしかにこの前期分についてはどうかと思いますが，長い目で見て10ヶ年計画の中に入っていくと，こういうことが入っているのは事実ですので，それをご確認いただければと思います。

(比嘉委員)

中学校の施設の開放について，10ページの5にも書いてありますけど，具体的に中学校はどういう理由で開放が進まないのか，それともそういう話し合いがなかったのか，もしわかるのなら教えていただきたい。

(岡田会長)

市側の説明では，やはり中学校にある場所が，住宅の密集地域である場合が多い，そうすると近隣住民との様々な，例えば一番わかりやすいのが夜間照明，これについては近隣住民の賛成がほとんど得られない。あるいは部活で遅い時間まで使っておられる。なかなか施設が空かないというような説明は繰り返していただいているのですが，いかがでしょうか。

(比嘉委員)

体育館についてもですか。

(岡田会長)

体育館もです。クラブが7時ぐらいまで使っています。

(中村部長)

潮見中学校は一部使われています。

(西田副会長)

このスポーツ推進審議会の中で，中学校の開放について，体育協会の方で，一部試験的に潮見中学の体育館を開放していただいている。6時に部活が終わりますので，1時間空けて，7時から9時までです。

(比嘉委員)

平日は大変だけど，土日とかはゆっくりできる。利用者の方も土曜日・日曜日が多いのではないですか。

(西田副会長)

現状をいいますと，土日は部活動で大会や試合があったりで難しい。平日は社会体育ということで，2時間程貸していただいている。

(中村部長)

学校施設ですから，生徒が優先です。それをのけた時間については，今後推進はしていこうと思っています。実際に一部小学校の方で話を進めていまして，コミスクさんが結構使ってらっしゃいますけど，その隙間で空いている時間をお借りできないかということで協議を始めております。少しずつ推進はできていかなと思っていますし，またやっつけていかなければと思っています。

(野島委員)

市立芦屋高校の用地は，何かあるのですか。

(教育長)

市の方針としましては，売却ということで進めている。

(西田副会長)

余談なのですが，市の財政が5年たって良くなればと思うのですが，土地さえ残っていれば例えば，国の補助金とかt o t oの補助金とか，スポーツに関わるいろんな補助金を利用して，設備を充

実させていただければと思います。

(中島委員)

一番初めに拝見した時よりかは、すっきり見やすくなってよかった。指摘させていただいたところも整合性があり、よかったと思います。計画とすれば素晴らしいものになっているので、全部実現すると芦屋市としてはとてもいいものになるのだろうと思いつつ、なかなか実現できないところで、皆さんのいろいろな思いがあったりするのだろうと思います。中学校の開放については、議会の方でもご指摘がある中で、少しずつ実現している部分があるということに関しては認識しております。計画より前倒しに実現することは良いことと思いますので、是非、実現に向けて、やっていただけたらありがたいなと思いますので、よろしくをお願いします。

(岡田会長)

この策定の前段階で、随分現実的な問題を見ながらこの計画を立てていったということがあります。だから夢のようなお金がいくらでもあるような話はなしで、芦屋市の現状を見ながら作っていったというのが事実と思います。また、大胆なプランを出そうとしながらも、少し真綿で包んだような言葉で出させていただいているところもいくつもあると思います。いずれにしても10年、前期と後期と分けていただいて、是非、4月から実行していただいて、100%成果が出せるようにお願いします。また5年後には成果を見直すことになろうかと思っておりますので、是非よろしくお願ひしたいと思ひます。

(大崎委員)

1点だけよろしいでしょうか。14ページの第二次健康増進計画・食育推進計画の上のカッコの中の現状、「体力測定を行うにより、自分の体力を知る再確認となることで」という表現があるのですが、このままでいいのかなという感じがするのですが、平成25年度から走り出しているのであればそのまま、これはこれで仕方ないのかもしれませんが、ちょっと表現としては適切なのかなと思うのですが。

(岡田会長)

そのように思います。まったく気が付きませんでした。が、「行うことにより」など事務局の方で訂正していただけたらと思います。

(中村部長)

これは担当課が健康課の計画で、現在進めている現状ですけど、もう一度、文章を再確認します。

(岡田会長)

議題2の平成26年度の関係団体への芦屋市補助金交付について事務局からご説明よろしくをお願いします。

(事務局：寺本)

芦屋市体育協会の補助金の説明。

(事務局：木戸)

芦屋市レクリエーションスポーツ協会の補助金の説明。

(岡田会長)

ありがとうございます。これだけの団体があって、これだけの額しかないの、ご意見いただくのも気を遣うのですが、補助金は、上がっていないのですか。

(事務局：寺本)

上がっておりません。

(岡田会長)

体育協会さんいかがですか

(西田副会長)

スポーツに関しては、レクスポも含めてですね、芦屋市は市民が汗をかいて運営しているのが芦屋の自慢かなと思うのですが、そろそろ高齢化になって体力もなくなってきますので、やはり行政の応援ももう少しいただけたらと思います。財政が豊かになって、スポーツで元気な街づくりができたかなと思います。

(岡田会長)

芦屋市の推進計画を進めていく一方では、体協、レクスポという芦屋市にとっては大きく引っ張っ

ていく団体だと思しますので、素朴に増えていったらいいなと思います。こういう形で、今年度も補助金が出されるということです。以上、協議につきましては終わります。その他があればお願いしたいと思ひます。どなたも無いようですので、事務局の方にお返ししたいと思ひます。

(中村部長)

閉会あいさつ

(事務局：権藤)

これもちまして、平成25年度第2回芦屋市スポーツ推進審議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

終了